

1920（大正 9）年 8 月 18 日に創設された京都大学工学部建築学教室は、本年 2010（平成 22）年に創立 90 周年を迎えました。1990（平成 2）年に創立 70 周年記念行事を催して以降 5 年ごとに創立記念事業を行ってまいりましたが、今回も 85 周年に引き続き 90 周年を記念する式典を開催する運びとなりました。

この間建築学教室は、高い水準の教育・研究を行い、多くの優秀な人材を育成し、生活の質を高める建築や都市の創造に大いに力を尽くしてきました。しかし、21 世紀を迎えた今日、地球環境問題をはじめ、これまで人類が経験したことのない多くの問題が露見していますし、学内でも 2004（平成 16）年 4 月に大学が法人化され、次いで同年 9 月に建築学専攻、2006（平成 18）年 9 月に都市環境工学専攻（建築コース）が桂キャンパスへ移転し、併せて吉田キャンパスでも 2005（平成 17）年春に主に 3 年生以下の学部教育を行う講義室・製図室等が工学部 7 号館から工学部 3 号館北棟に移りましたので、研究・教育環境も大きく変化してきました。この局面において、建築学教室における教育・研究のあり方が鋭く問い直されています。

こうした状況の変化に対応するためには、大学の教員、学生、社会の中で活躍している同窓生が協働して、建築の研究・教育のあり方を問い直していく必要があると考えます。そのような協働の契機となることを願い、創立 90 周年記念行事として、京大建築会総会・シンポジウム・祝賀懇親会、及び卒業設計作品展・キャンパス見学会を開催することにした次第です。

本稿では今回の記念行事の全体報告をさせていただきます、続いてシンポジウム・卒業設計作品展・見学会についてもまとめを掲載致します。京大建築会の会員の皆様に（当日ご都合で出席いただけなかった方々にも）、記念行事の内容をなるべく詳しくお伝えすることにより、「21 世紀における建築の研究・教育のビジョン」や「大学と社会を結ぶプラットフォームとしての京大建築会のあり方」について、共に考えていただくことができれば幸いです。

■ 記念行事の概要

記念行事は、2010（平成 22）年 9 月 19 日（日）、及び 20 日（月）に、京大建築会総会・シンポジウム・祝賀懇親会・卒業設計作品展の会場は京都大学百周年時計台記念館、吉田キャンパス見学会は建築学教室本館及び工学部 3 号館北棟、桂キャンパス見学会は桂キャンパス C クラスター C2 棟、C1-4 棟において、それぞれ実施しました（桂キャンパス見学会のみ、20 日午前中に開催しました）。

19 日当日は、本当に気持ちの良い青空が広がり、全国から総計 450 名を超す多数の会員にご参集いただき、建築学教室の歴史を振り返り、未来を展望する機会を持つことができました。また、20 日午前中も気持ちの良い日となり、お越し頂いた方々には桂キャンパスをお楽しみいただけたことと思います。ご参加いただきました会員の皆様方に厚くお礼を申し上げます。



（1）京大建築会総会

建築会総会は、林康裕教授（昭和 57）の進行により、14:00～14:25 に百周年記念ホールにて

開催しました。

まず、創立 90 周年記念事業実行委員会委員長の門内から、本稿冒頭に記しました趣旨を説明し、開会挨拶を述べさせていただきました。川上貢建築会会長（昭和 24）からは、建築会や記念行事の意義についてお話をいただくとともに、退任に当たってのお言葉を賜りました。



次いで、上谷宏二常任委員長（昭和 45）から、常任委員会報告として、1990（平成 2）年に故横尾義貫会長（昭和 14）の発意により、中村恒善名誉教授（当時は教授）（昭和 31）が実行委員長として指揮をとられ、京都支部の支援のもとに創立 70 周年記念行事が開催されたこと、以降 5 年に一度創立記念行事を開催するに至ったことなど、建築会の歴史を画する興味深いお話をいただきました。

高橋大弐副会長（昭和 50）から、支部長会議において新会長に松浦邦男名誉教授（昭和 27）を推薦する提案が承認されたことについて報告があり、総会でも満場一致で承認されました。

同じく高橋副会長から、名簿データベースの使用に関する議題の説明がありました。京都大学では全学同窓会として「京都大学同窓会」を設立していますが、その名簿整備のために、京大建築会にも同窓会担当の理事を通じて、名簿使用の要望が届いており、京大建築会の名簿を全学同窓会に提供することを認めてはどうかという議題です。支部長会議では、個人情報保護の問題も重要であるため、どのような形で情報を提供するかという点について、きちんと内容を確認した上で対応すべきだという意見がありましたので、使用条件を確認した上で全学同窓会に名簿を提供することを基本方針として提案し、それが総会で承認されました。

最後に、吹田啓一郎（昭和 57）建築学専攻長

から、教室近況報告、建築会報告がありました。建築系専攻では、1991（平成 3）年に建築学・環境地球工学、1996（平成 8）年に建築学・生活空間学・環境地球工学、2003（平成 15）年に建築学・都市環境工学（建築コース）と再編が続いてきましたが、2010（平成 22）年より、建築学専攻に統合されたことが報告されました。また現在、建築学科の定員は 80 人、建築学専攻の定員は修士課程で 72 人、博士課程で 24 人ですが、最近女子の占める割合が増加しており、本年 4 月現在、学科で 29%、修士課程で 20%、博士課程で 28%となっていることが紹介されました。

（2）シンポジウム

引き続き 14:30~16:15 に、百周年記念ホールにおいてシンポジウムを開催しました。テーマは「建築の教育・研究のビジョンプラットフォームの構築」ですが、そのねらいは、創立 85 周年記念シンポジウムのテーマ「建築教育のビジョナー大学と社会の連携」を継承し、研究・教育のあり方を考え、それを支援するプラットフォームの構築を目指すところにあります。

パネリストは、井上俊之（国土交通省大臣官房審議官、昭和 53）、高橋晶子（ワークステーション共同主宰・武蔵野美術大学教授、昭和 55）、常岡次郎（鹿島建設関西支店、昭和 61）、真部保良（日経アーキテクチャ編集長、昭和 59）、山本和彦（森ビル副社長、京大建築会関東支部長、昭和 44）に、コーディネータは竹脇出教授（昭和 55）にお願いしました。

今日、建築の概念自体が大きく揺らぎ始めており、建築の研究・教育についてもその根本から問い直す必要があると考えています。様々な領域で活躍されているパネリストに、そのビジョンを語り合ってくださいとともに、大学と社会を結ぶプラットフォームとしての京大建築会の可能性について議論をしてみたいと考え、このようなシンポジウムを企画しました。詳細については、行事報告（2）をご覧ください。

（3）祝賀懇親会

祝賀懇親会は、西山峰広教授（昭和 57）を進行役として 16:30~18:15 に京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールで開催しました。

最初に松浦邦男新会長から、祝賀懇親会の開

会挨拶をいただきました。併せて、昨年イタリアにお住まいになり、その後帰国され、建築学会会長をお引き受けになるに至った経緯を含めて、新会長の抱負をお話いただきました。



次いで、大内克之京都支部長（昭和 45）からご挨拶をいただき、会長・副会長・支部長、常任委員長、実行委員長が登壇して恒例の鏡開きを行いました。酒樽を割る槌音とともに、芳ばしいお酒の香りが漂い、華やかな記念懇親会の幕開けとなりました。



鏡開きに続いて、金多潔名誉教授（昭和 28 旧）に乾杯のご発声をいただき、会場は大変賑やかな懇親の場となりました。

最も人数の多いときには、約 400 名を大きく越す同窓生が一同に会していましたので、広いはずの会場がかなり狭く感じられたほどです。京大建築会の会員数は 5000 人弱ですから、相当数の会員にご参集いただいたことになります。

多士済々の皆様方のお姿から、京大建築会のネットワークの潜在力を実感することができましたし、それ以上に、お集まりいただいた方々に多種多様なコミュニケーションの場を提供できたことは、誠に悦ばしいことでした。



懇親会では、学科長、支部長等から近況報告を行っていただきましたが、幾重にも広がる懇談の場では、その声が届く範囲は限られてしまい、進行の難しさを実感した次第です。

また終盤では、京都大学総長、京都大学工学研究科長（工学部長）、日本建築学会会長、日本建築家協会会長、建設業協会会長から頂戴した祝電を原田和典教授（昭和 59）に披露していただきました。祝電の一例をご紹介します。

「京都大学工学部建築学教室創立九十周年を心よりお祝い申し上げます。高い水準の教育・研究を通じて優れた建築・都市の創造に貢献してこられたことに敬意を表します。より一層発展されることを祈念致します。 京都大学総長 松本紘」

最後に、実行委員長である門内が、記念行事への参加者、発起人、パネリスト、京大建築会役員などへのお礼と、大学と社会の連携のためのプラットフォームの構築への協力をお願いを述べ、懇親会を閉会しました。

（４）卒業設計展

懇親会場の東側の壁面沿いに、最近の卒業設計作品の一部をパネル展示し、設計教育の成果の一端をご覧いただくようにしました。2006（平成 18）年度から、『卒業設計作品集』の刊行を開始していますが、創刊号の刊行は、創立 85 周年記念事業による寄付金によって可能になったものであります。

京都大学の卒業設計が全国的に見て大変高い水準にあることは、毎年仙台で開催されている「卒業設計日本一決定戦」で、本学学生の作品が日本一～日本三を受賞していることからよく知られるところとなっています。そこで、卒業設計作品の代表例と最近の設計教育のカリキ

ュラムをご覧いただくことにしました。詳細については、行事報告（3）をご覧ください。



（5）キャンパス見学会

19日（日）10:30～12:00に吉田キャンパスにおいて、現在学部教育を展開している工学部3号館北棟、及び建築学教室本館の見学会を実施しました。また、翌20日（月）10:00～12:00に桂キャンパスCクラスターにおいて、C2棟、及びC1-4棟の見学会を開催しました。C1-4棟は都市環境工学専攻（建築コース）（本年4月以降は建築学専攻に統合）の建物で、今回初めて見学していただきました。詳細については、行事報告（4）をご覧ください。

■記念行事の準備・実施

ここで、創立90周年記念行事の準備、及び実施について記しておきたいと思います。

実行委員長としての最初の仕事は、記念行事の会場を決めることでした。色々な観点から京都大学百周年時計台記念館がよいということになり、2009（平成21）年9月19日（土）に時計台記念館に出向き、2010（平成22）年9月19日（日）の予約をとることができました。

実際の記念行事の準備は、実行委員会を組織し、4月～9月にかけて準備を進めました。実行委員としては、竹脇出教授に副委員長をお願いし、林康裕教授、西山峰広教授、原田和典教授、田路貴浩准教授（昭和61）、神吉紀世子准教授（昭和64）、吉田哲准教授（平成4）、荒木慶一准教授（平成5）、伊勢史郎准教授、守山基樹助教（平成17）に委員をお願いし、さらに奥村眞智子さん、安齋あすかさんに煩雑な事務をご担当いただきました。

実行委員会では、最初に学年別に発起人推薦人を選び、発起人の推薦をお願いし、最終的に

580人を超す方々に発起人をお引き受けいただくことができました。この間、総会・シンポジウム・祝賀懇親会・卒業設計展・見学会の企画を立案し、7月に発起人名簿と共に「京都大学工学部建築学教室創立九十周年記念 京大建築会総会・シンポジウム・祝賀懇親会等のご案内」を全会員に送付しました。

9月になると、准教授・助教の先生方にお手伝いに関する説明会を開催し、式典当日には学生を含む多くの方々に多岐にわたる役割を担っていただきました。また、大内克之京都支部長には、何かとお心遣いをいただき、鏡開きの酒樽の手配もお願いしました。

これらの方々のご尽力に対して、記して厚くお礼を申し上げます。

■建築学教室と京大建築会の連携に向けて

最後に、記念行事の実施に際して、建築学教室と京大建築会の連携の可能性について考えていたことをまとめておきたいと思います。

国立大学の法人化に伴い、予算・人員等が削減される傾向にあり、かつての大学とは大きく異なる運営を余儀なくされています。一方、都市化・情報化・グローバル化が進み、建築をめぐる諸問題もますます複雑化しています。こうした困難な状況において、質の高い研究・教育を推進していくためには、大学と企業・行政・同窓生との有機的な連携を促進することが不可欠であると考えています。

そこで、創立90周年の記念事業の一環として、建築の教育・研究の発展を支える「大学と社会を結ぶプラットフォーム」の構築を目指して、京大建築会のホームページ（HP）を全面的にリニューアルしました。URLは下記の通りです。

<http://www.kenchikukai.archi.kyoto-u.ac.jp/>

新しいHPでは、情報を「大学」と「社会」及び両者を結ぶ「京大建築会」に分類しています。それぞれが発信する情報を共有し、建築の研究・教育を支援するツールになれば幸いです。

建築をめぐる社会的状況は大きく変化しており、建築の研究・教育のあり方が鋭く問われています。こうした問題に対応するためには、大学と社会との密接な連携が不可欠であり、今後とも京大建築会の皆様方のご理解とご支援を切にお願いする次第です。

大学と社会をむすぶプラットフォーム
 京大建築会
 Architectural Alumni Association of Kyoto Univ.

FAQ | リンク | サイトマップ | 事務局情報 | トップページ
 MAIN MENU 3つのボタンに動いてください
 大学 京大建築会 社会



最新ニュース
 2010/9/28 東京一八会との秋の10月例会を開催いたします(設計ラボ中心)
 ※ 会場は、三井不動産のご好意により、日本橋區町田の再開発地区にて10月期に竣工予定の「東京三井ビルディング」の集会所が予定されています。見学会も行われます。上野精養軒日本橋店にて懇親会を開催いたします。
 10月例会は新入会者も歓迎いたしますので、各社に入社されました新入の方々にも積極的にご参加ください。お誘い合わせの上、奮ってご参加願います。よろしくお願ひいたします。
 2010年10月18日(月)
 【見学費】 17:00~18:00
 会場： 東京三井ビルディング
 【懇親会】 18:30~20:30

90
 京都大学工学部建築学教室
 創立90周年記念式典

本会館/2010/9/28の更新情報へ
 掲載情報をお寄せください

ここで、創立 90 周年記念事業の会計報告をさせていただきます。収入は、412 名の会費納入を中心に 4,297,800 円でした（実際には 450 名以上が出席されましたが、これはシンポジウム・見学会のみの参加者、お手伝いの学生を含む人数です）。それに対して支出は 3,656,538 円でしたので、641,262 円の黒字となりました（黒字分は京大建築会会計に繰り越しとさせていただきます）。詳細は下記の表の通りです。

最後になりましたが、好天にも恵まれ、本当に多くの京大建築会の会員にご参集いただき、建築の研究・教育のビジョンを語り合い、旧交を温め、様々な出会いを促す場を持つことができましたことに対して、実行委員長として深く感謝申し上げます。



収入の部		支出の部	
会費		会場設営費	300,300
郵便振込み (252 名)	2,520,000	印刷費	352,590
当日入金 (160 名)	1,551,000	通信費	424,795
@在學生 (博)・同伴者 3000		学生謝金	483,900
通信費負担金		懇親会料理	1,602,715
京大建築会	126,800	消耗品 (設計展用等)	358,918
供養塔委員会	100,000	その他	133,320
		京大建築会へ繰越	641,262
	4,297,800		4,297,800